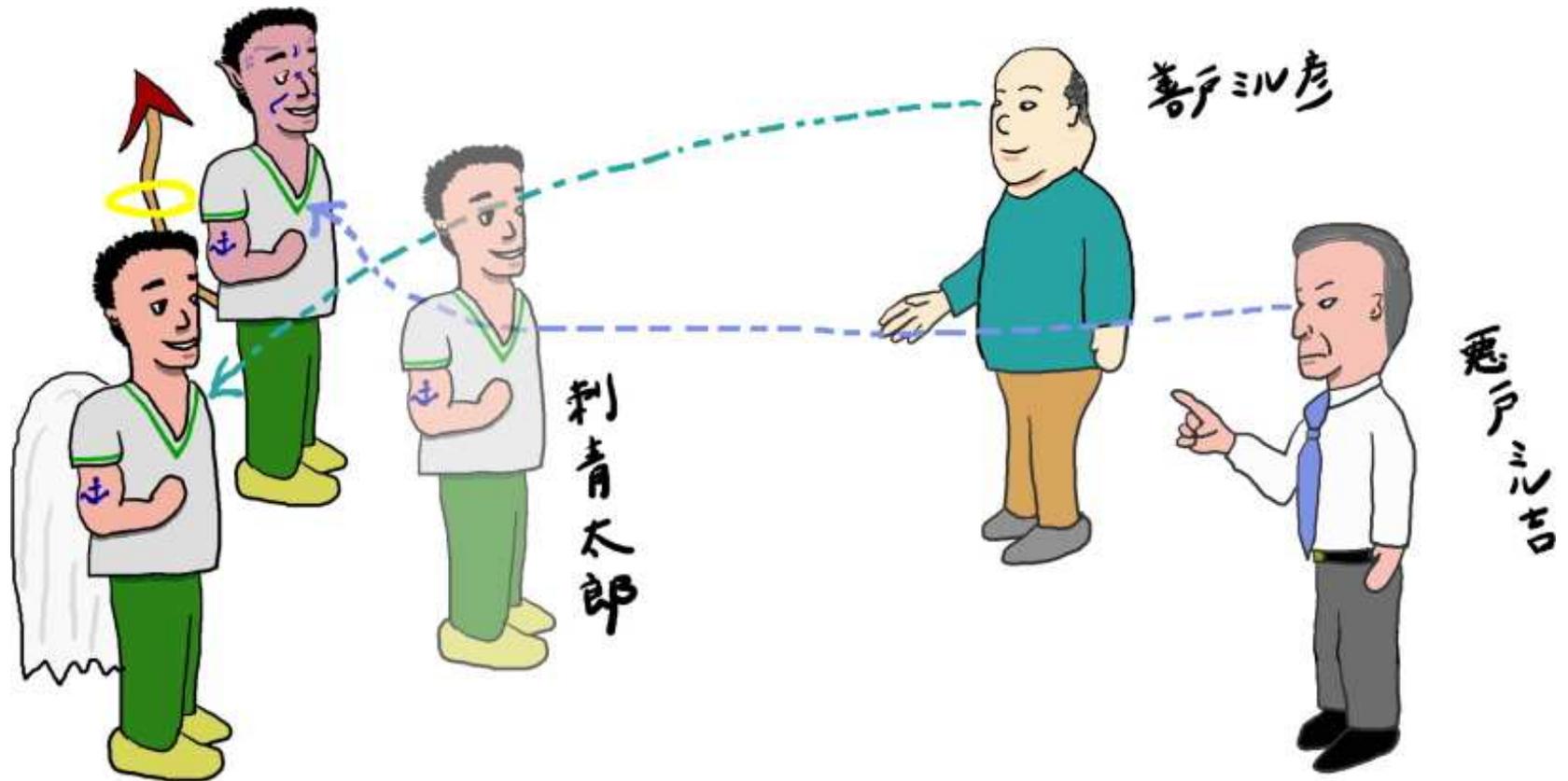


差別は悪!?

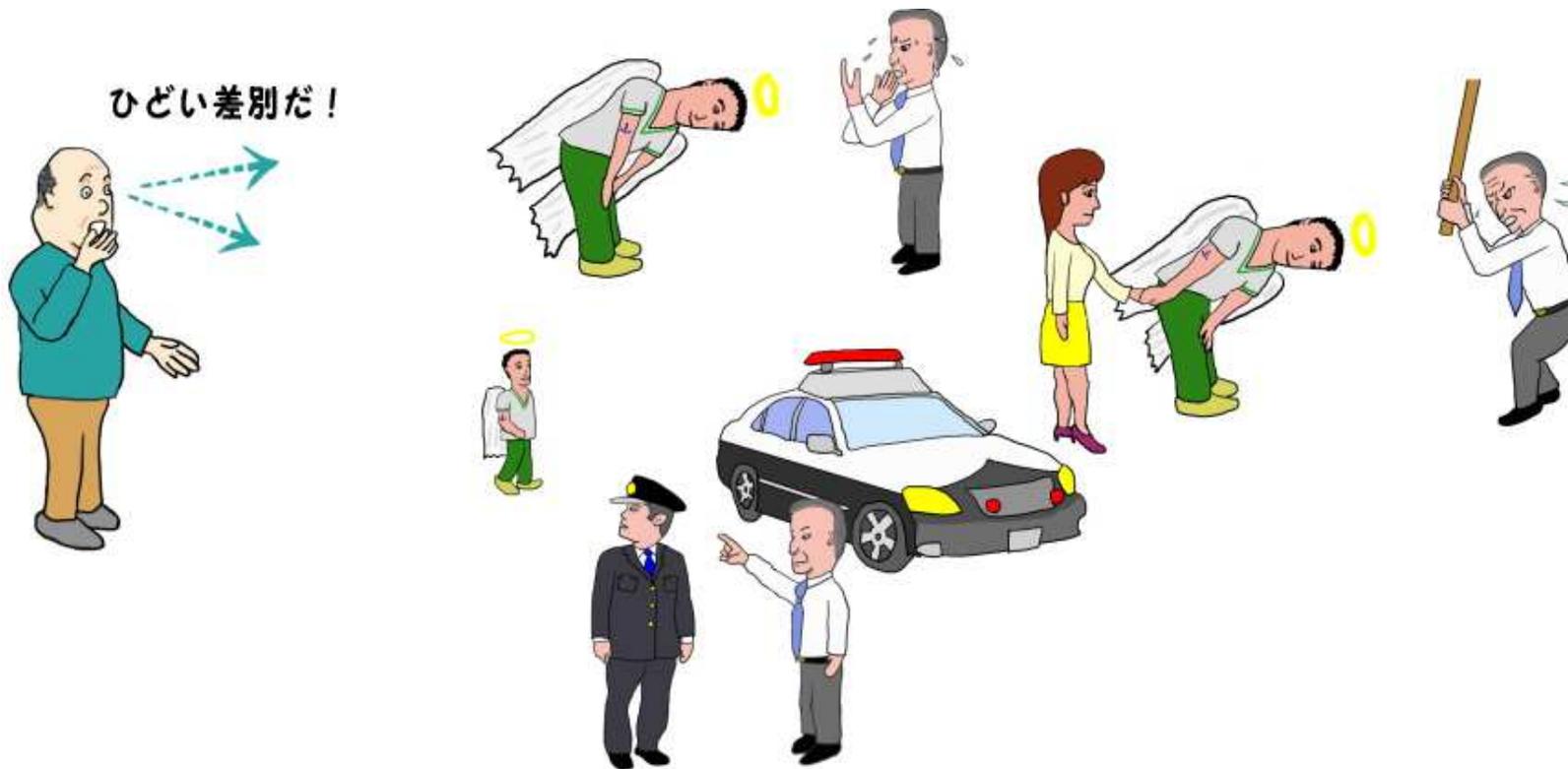


東郷 潤

あるところに、悪戸ミル吉さんと善戸ミル彦さん、それから刺青をした刺青太郎さんがいます。 悪戸ミル吉さんは刺青太郎さんを悪人だと思っています。善戸ミル彦さんは刺青太郎さんを善人だと思っています。



悪戸ミル吉さんは、刺青太郎さんを悪人だと信じているので、悪人として扱います。一方で善戸ミル彦さんは、刺青太郎さんを善人だと信じているので、「悪戸ミル吉さんが刺青太郎さんを差別している」と思いました。



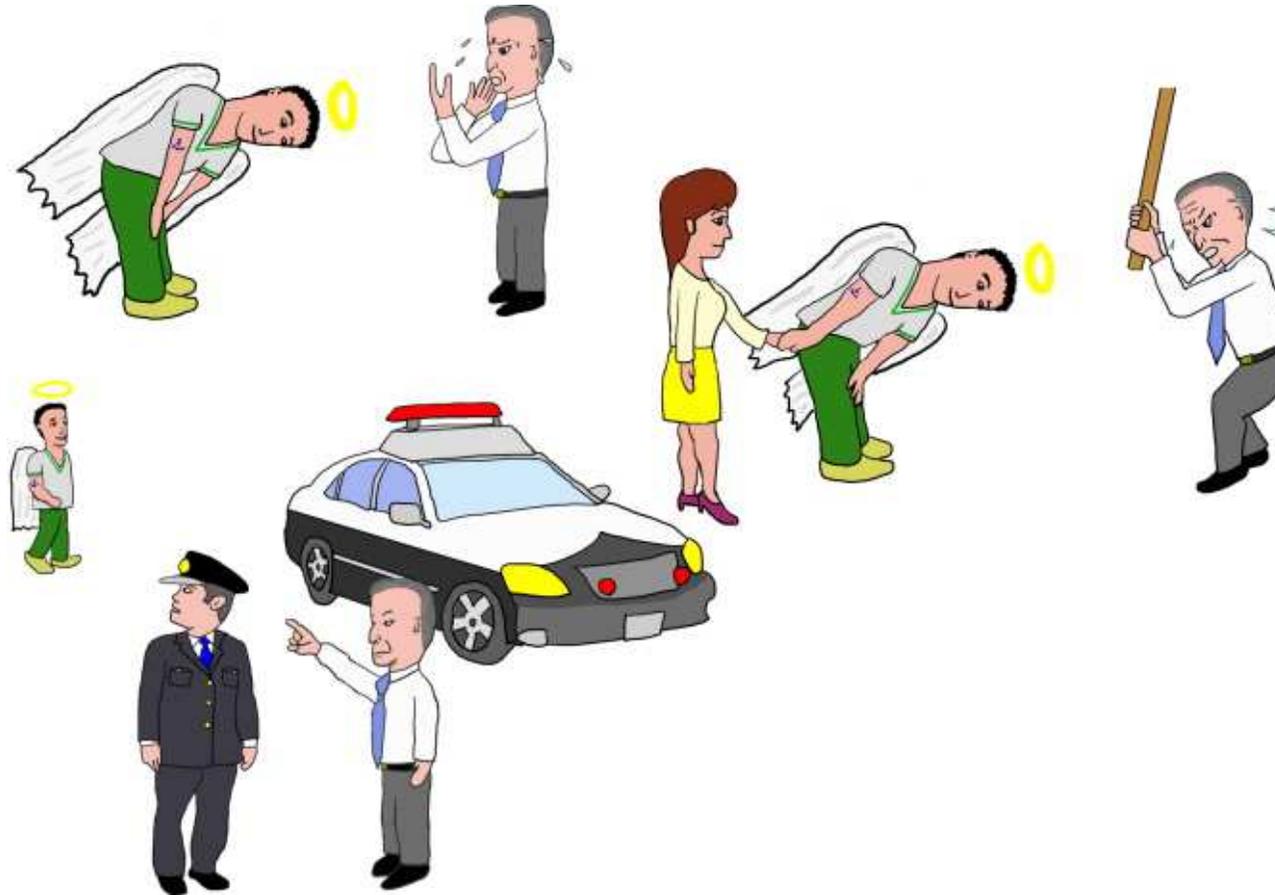
むしろ、善戸ミル彦さんは、なんとかして、悪戸ミル吉さんの差別をやめさせたいと思いました。

そこで、善戸ミル彦さんは悪戸ミル吉さんに強く意見しました。



幸い、悪戸ミル吉さんは賛成してくれました。善戸ミル彦さんは一安心です。

しかしどうでしょう？ 悪戸ミル吉さんの刺青太郎さんへの態度は、全く変わらなかったのです！



当たり前ですね！ 悪戸ミル吉さんに見れば、悪人を悪人として扱っているだけに過ぎません。悪戸ミル吉さんには差別をしている自覚なんて、もともとこれっぽっちも無いのです。

差別は差別している人には見えません。 「差別は悪！」なんていう呪文で、差別を無くせると思ったら、大間違いです。



あとがき —絵本「差別は悪!?!」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です(商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます)。

また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2013